

自然休養村連絡橋 (バウルーレオンハルト押出工法)

Connecting Bridge
for Natural Resort Park
(Bur-Leonhardt's Extrusion Method)

川田工業(株)PC事業部

自然休養村連絡橋は、“光と水と緑の香り豊かな里”をスローガンとする、福光町自然休養村の建設にともない、小矢部川溪谷に架橋されるもので、連絡道路整備事業の一環として昭和54年3月に完成の予定である。

本橋は、鉄筋コンクリート中空断面の高橋脚上に、三径間連続PC箱桁橋として計画・設計されたものであり、架設には押出し工法が採用された。この工法による橋梁は、ヨーロッパ諸国では数多く建設されているにもかかわらず、わが国においては、技術の導入が比較的新らしく、施工例も少ないというのが現状である。しかし、工期の短縮と施工性、景観および維持管理等の比較検討の結果、本工法に決定したものである。

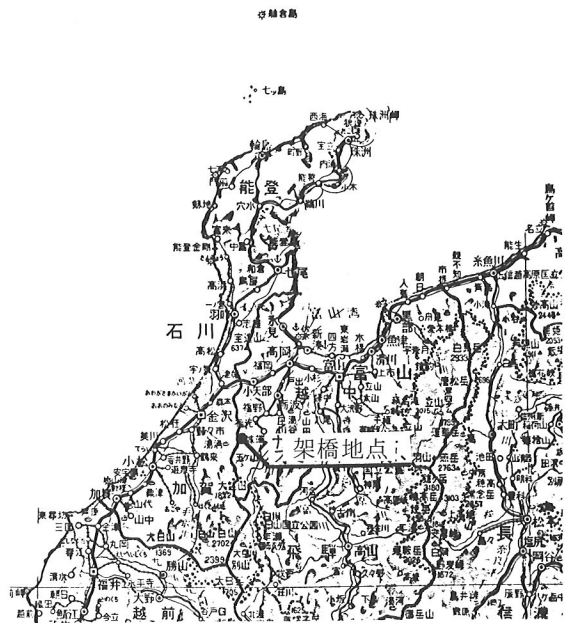


図-1 架橋位置図

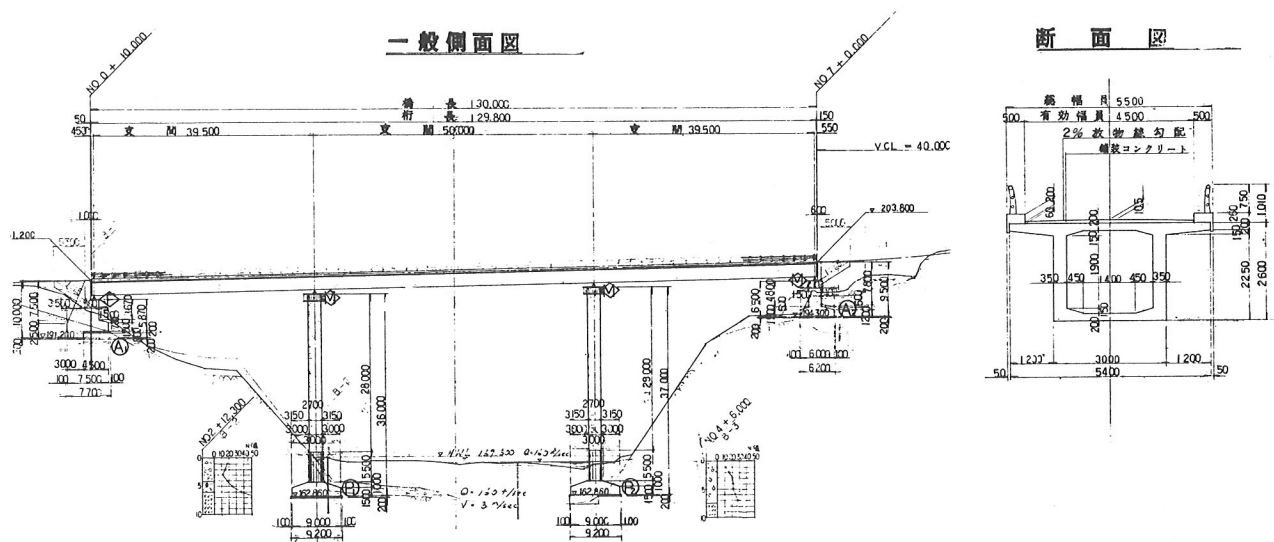


図-2 一般側面図、断面図

本橋の設計諸元は、次の通りである。

等級	二等橋	TL-14
橋長	130.00	m
支間長	39.50+50.00+39.50	m
有効幅員	4.50	m
構造形式	三径間連続PC箱桁	
架設工法	バウルーレオンハルト押出し工法	
発注先	富山県福光町役場	

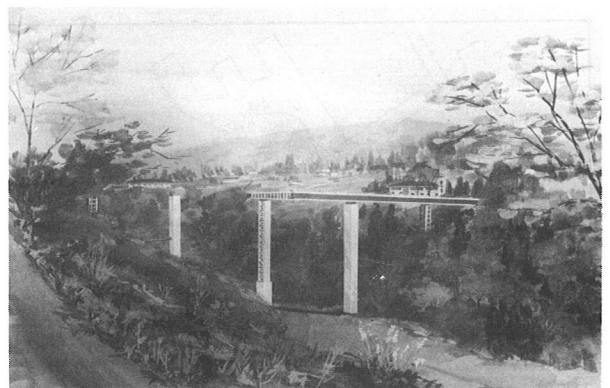


写真 施工想像図